

令和6年度 女性と語るまちづくりトーク 取組状況一覧表

<予算措置の分類>

○：予算措置あり（過年度を含む）、—：予算措置なし

<事業の実施状況の分類>

A：意見・質問等の趣旨に沿って実施したもの（一部実施を含む）、B：実現に向け努力しているもの、C：当面は実現できないが検討課題として受けたもの、D：実現が極めて困難なもの・提言として受けたもの・現状の説明をしたもの

| 整理番号 | 意見・提案等 (内容) | 市の回答 | 担当課 | 令和8年度時点の実施状況 | | |
|------|--|--|-------------------------|--------------|---------|----|
| | | | | 予算措置 | 事業の実施状況 | 備考 |
| 1 | オーガニックビレッジ宣言をし、有機農業の推進と環境保全に対する強いコミットメント（責任を持って約束すること）を示さないか。 | オーガニックビレッジ宣言が社会として定着するには、消費者・生産者側双方の視点が同じ方向を向かないといけない。 有機という言葉への抵抗感は強いが、「環境負荷が少ない」「低農薬、低化学肥料」という言い方であれば反対は少ないと思われる。 方向性としては市としても取り組んでいきたい内容である。 ごみ減量は啓発活動などを地道に続け、一定の成果は出始めている。剪定枝などを有機肥料にすることに関しては調査が必要。どのように循環型社会を作り上げるかが課題であると感じている。 | 農水振興課 | — | C | |
| 2 | 学校給食に有機食材を取り入れないか。 | ※意見・提案のみ | 農林水産課 教育庶務課 学校教育課 | — | C | |
| 3 | 有機農業を行う農家への補助金制度の設立や有機農業従事者の育成プログラム（転換者向け・新規就農者向け）を創設しないか。 | ※意見・提案のみ | 農水振興課 | — | C | |
| 4 | 地元の有機栽培農家を講師に招き、小規模農家や家庭菜園などを楽しむ方向けに、ファーマーズスクールを行い、次世代の有機農業の担い手を育成しないか。 | ※意見・提案のみ | 農水振興課 | — | C | |
| 5 | 西尾市の魅力をどのように何だと感じているかに関する市民アンケートを実施しないか。 | 以前は「良いコンテンツはあるがPRがうまくない」との指摘があった。完全に改善されてはいないが、市内にはカフェなども多くあり、県内からの誘客はある程度できている。 | 観光文化振興課 広報広聴課 | ○ | C | |
| 6 | 観光客のアイデアを取り入れて、より魅力的なまちとなるよう、市民、行政、観光客でワークショップを開催しないか。 | 現在の西尾市は、観光として宿泊を伴う目的地として選ばれる場所に至っていない。その辺りは観光客や市民目線の意見を聴かせてもらいたい。 | 観光文化振興課 | — | C | |
| 7 | 市民主導で新商品開発や観光ガイドツアーなどを行わないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | — | C | |
| 8 | 文化会館を活用するため、有名アーティストを招いてイベントを開催しないか。 声優が好きなので、文化会館に声優など知名度がある方を呼んでイベントを開催してくれないか。 | 文化会館を指定管理していく中で、有名アーティストを招いてイベントを開催するなどは実施していきたいと考えている。 イベントの開催に関しては「誰か有名人を」と言われても、抽象的で市として判断ができない。市では知らない情報もあるので、具体的に「○○を呼んで」と教えてもらえれば、実現するかは別問題として、動き出すことができる。 | 観光文化振興課 | ○ | A | |
| 9 | 文化会館で地元の伝統芸能と現代アートを融合したイベントを開催しないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | ○ | A | |

令和6年度 女性と語るまちづくりトーク 取組状況一覧表

<予算措置の分類>

○：予算措置あり（過年度を含む）、—：予算措置なし

<事業の実施状況の分類>

A：意見・質問等の趣旨に沿って実施したもの（一部実施を含む）、B：実現に向け努力しているもの、C：当面は実現できないが検討課題として受けたもの、D：実現が極めて困難なもの・提言として受けたもの・現状の説明をしたもの

| 整理番号 | 意見・提案等 (内容) | 市の回答 | 担当課 | 令和8年度時点の実施状況 | | |
|------|--|--|--------------------|--------------|---------|----|
| | | | | 予算措置 | 事業の実施状況 | 備考 |
| 10 | 文化会館でも子供向けの芸術教室や市民講座を開催しないか。 | 文化交流センターの管理をしている文化協会が文化会館の指定管理を行うことになっている。文化交流センターでは幅豆の特色を生かした教育プログラムの実施がされていたので、文化会館でも同じような事業が行われるのではと考えている。 | 観光文化振興課 | ○ | A | |
| 11 | 文化会館でのイベントと市内観光をパッケージにしないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | — | C | |
| 12 | 市内の主要観光地を巡るバス路線を整備しないか。 | ※意見・提案のみ | 地域つながり課 観光文化振興課 | — | C | |
| 13 | 観光地を巡るためのレンタサイクルを拡充しないか。 | レンタサイクルは、利用したまま返却しなくて済む方式が理想だが、利用者が増えないとその仕組みは構築できないため、現状の西尾市では難しい。一定の経費を市が負担するのは問題ないが、全額市の予算で実施するということではできない。利便性を向上させつつ、市の予算を投入しない仕組みができないかを考えていきたい。 | 観光文化振興課 地域つながり課 | — | A | |
| 14 | 名古屋市から直通で西尾市へ来られる特急電車を走らせられないか。 | ※意見・提案のみ | 地域つながり課 | — | C | |
| 15 | 観光ガイド付きのタクシーを運行しないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | — | C | |
| 16 | にしがま線の駅で、アニメやゲームなどとコラボしたイベントを開催しないか。 | エキメモなどの取り組みは利用者も増え、比較的低予算で実施できるので、これからも取り組んでいきたい。 | 地域つながり課 | — | C | |
| 17 | 駅が殺風景とを感じるので、例えば西尾駅で開催されているマルシェを他の駅でも行う、ハロウィン等のイベントに合わせたイルミネーションを施すなどし、駅自体に魅力を感じてもらえるようにしないか。 | ※意見・提案のみ | 地域つながり課 商工振興課 | — | C | |
| 18 | 駅カフェを設置して、待ち合わせや観光スポットとして人が訪れるような場所を作らないか。 | 良い企画であると思う。ビジネスプランコンテストで西尾高校の生徒が「駅サウナ」を提案してくれたが、似たような発想と思う。駅自体が目的地になり快適に過ごせる「何か」があれば人が来るのではということと思う。駅は名鉄の持ち物なので、そのような提案は積極的にしていきたい。 | 地域つながり課 商工振興課 | — | C | |
| 19 | にしがま線を応援する人を増やすため、次のことをしないか。 ①今まで以上に情報発信を強化 ②地元企業・学校などと協力して地域連携を推進 ③地域住民が主体的に参加できるボランティア活動を盛り上げ | にしがま線の利用者数増には定期券利用者を増やさないといけないが、車の方が便利なこともあり、なかなか電車の利用者は増えない。学生の足としても重要だと認識しているが、実際に西尾高校に蒲郡方面から通学する人は減っている。現在、上横須賀駅周辺で大規模な区画整理を進めており、通勤などでの電車利用者の増加に期待している。 愛知こどもの国が生まれ変われば、利用者の増につながる可能性があるのではないと思う。 にしがま線応援団については、高齢化が進んでいる。若い方を増やしたいが「自分がやるんだ」という方がどれくらいいるのかという話になるので、なかなか難しい問題と認識している。 | 地域つながり課 | — | D | |

令和6年度 女性と語るまちづくりトーク 取組状況一覧表

<予算措置の分類>

○：予算措置あり（過年度を含む）、—：予算措置なし

<事業の実施状況の分類>

A：意見・質問等の趣旨に沿って実施したもの（一部実施を含む）、B：実現に向け努力しているもの、C：当面は実現できないが検討課題として受けたもの、D：実現が極めて困難なもの・提言として受けたもの・現状の説明をしたもの

| 整理番号 | 意見・提案等 (内容) | 市の回答 | 担当課 | 令和8年度時点の実施状況 | | |
|------|---|--|---------------------------------|--------------|---------|----|
| | | | | 予算措置 | 事業の実施状況 | 備考 |
| 20 | 給食調理の視察会や給食の試食会を開催しないか。 | ※意見・提案のみ | 教育庶務課 | — | A | |
| 21 | 食育推進会議の参加者に栄養教諭を追加しないか。 | 担当部局に確認し、連携ができていないのであれば連携できるよう指示をしていく。 | 農水振興課 学校教育課 | — | A | |
| 22 | 災害時の炊き出し場所として、学校調理室の利用をしないか。 | ※意見・提案のみ | 危機管理課 教育庶務課 | — | C | |
| 23 | 子育て世代向けに、さまざまな悩みを持つ保護者などとのつながりを持つ「話しても話さなくても良い対話の場」を作らないか。 | ※意見・提案のみ | 健康課 子育て支援課 保育課 家庭児童支援課 | ○ | A | |
| 24 | 子どもの声を聴ける親を増やすため、まず親に「話を聴いてもらえた」という体験が必要なので、そのような体験ができる場を作らないか。 | ※意見・提案のみ | 健康課 子育て支援課 保育課 家庭児童支援課 | ○ | A | |
| 25 | 妊娠・出産後の女性が社会から孤立していると感じないために、各自の得意分野を生かして、お母さん同士の横のつながりを作らないか。 | ※意見・提案のみ | 健康課 | — | D | |